

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 ソマール株式会社 上場取引所 東
コード番号 8152 URL <https://www.somar.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾谷 太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務本部長 (氏名) 小林 正樹 TEL 03-3542-2152
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,944	14.1	2,064	61.0	2,133	51.4	2,101	127.5
2024年3月期第3四半期	20,114	8.1	1,282	132.2	1,409	104.0	924	66.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,116百万円 (17.8%) 2024年3月期第3四半期 1,797百万円 (42.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	1,084.26	—
2024年3月期第3四半期	476.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,536	19,232	63.0
2024年3月期	26,859	17,254	64.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 19,232百万円 2024年3月期 17,254百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
詳細につきましては、本日（2025年2月14日）公表いたしました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	16.3	2,700	50.2	2,800	46.7	2,600	89.6	1,341.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
詳細につきましては、本日（2025年2月14日）公表いたしました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,958,734株	2024年3月期	1,958,734株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	20,427株	2024年3月期	19,853株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	1,938,556株	2024年3月期3Q	1,939,164株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果により、国内景気は緩やかな回復の動きがみられるものの、円安の進行による物価上昇や、金利の上昇などによる企業の経済活動や個人消費への影響が懸念され、海外では、欧米主要国の政策金利が高水準で推移したこと等により一時的な変動がありながらも円安基調となったことや、ウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇、中東問題、中国の不動産不況などの影響から、当社グループの経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・建材、化粧品、介護食、特殊素材を用いたアパレル等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

その結果、自動車部品業界向け高機能樹脂製品の販売が新規顧客の獲得等により海外において大きく伸長したことや、スマートフォン向けコーティング製品の受注動向が順調に推移したことで、営業利益が前年同四半期を大幅に上回りました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が229億4千4百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益が20億6千4百万円（前年同四半期比61.0%増）、経常利益が21億3千3百万円（前年同四半期比51.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益6億5千7百万円を計上したことや、前第3四半期連結累計期間において退職給付制度改定損3億2千万円を計上したこと等により、前年同四半期を大きく上回り21億1百万円（前年同四半期比127.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

[高機能材料事業]

電子機器業界向け関連製商品の販売では、受注環境が緩やかに回復傾向であり、スマートフォン市場向けの取引が引き続き好調だったこと、モビリティ市場及びAI関連市場向けの需要も旺盛になっており遮光部材等の販売が増加し売上高は前年同四半期を上回りました。自動車部品業界向け製商品の販売では、EV関連向け部品の需要が用途により大きく変化しており、特定部品の需要が低迷いたしました。新規顧客の獲得等により北米や欧州の受注が増加いたしました。その結果、当事業全体の売上高は158億6千2百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は20億7百万円（前年同四半期比65.7%増）となりました。

(主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	電子機器業界向けの販売が市場回復の基調にあることから、遮光部材及び加工フィルムの販売が順調に推移し28.1%の増収となりました。
高機能樹脂製品	自動車部品業界向け電気絶縁用樹脂は、市場環境が大きく変化するなかでハイブリッド車・EV関連部品用途において小型モーターの需要が減少傾向となりましたが、北米等での販売活動が奏功し18.8%の増収となりました。
電子材料	基板業界向け材料が従来用途の生産減少により受注が低迷いたしました。また産業機器モーターやトランス向け絶縁材料が販売先での減産による需要減少の影響を受け4.4%の減収となりました。
機能性樹脂	自動車部品業界向けの販売は部品の在庫調整等の影響もあり受注が低迷いたしました。また電子機器業界向けの販売では装置産業向けの需要減少の影響を受け12.1%の減収となりました。

〔環境材料事業〕

主要な販売先である製紙業界では、新聞・塗工紙の市場は継続して縮小し、落ち込みが少なく比較的堅調である板紙・生活産業用途も物価上昇による消費者の買控えを背景にE C出荷用段ボールの需要が伸び悩み、事業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。このような状況下、当社グループにおいては、市場ニーズに応じて、特長を生かした差別化製品の拡販と新たな用途や周辺市場の開拓等に取り組んでまいりました。製品販売では工業用殺菌剤が製紙会社での安価品への切替え等で減少したものの、製紙用ケミカルズが板紙分野を中心に顧客ニーズに対応した差別化製品の国内外への市場開拓や販売促進等により売上が順調に推移したことで前年同四半期を上回りました。商品販売では、塗工用バインダーが一部顧客での商流変更に伴う取引の増加により、前年同四半期を大幅に上回りました。その結果、当事業全体の売上高は51億3千8百万円（前年同四半期比46.2%増）、営業利益は1億6千万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

（主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	工業用殺菌剤が製紙会社での安価品への切替えや減産に伴い販売が減少したものの、製紙用ケミカルズが板紙分野への拡販に注力し差別化製品の市場開拓を進めたことで、6.4%の増収となりました。
製紙用化学品	主要取扱商品の塗工用バインダーが一部顧客での商流変更により、取引が大幅に増加したことで、60.1%の増収となりました。

〔食品材料事業〕

食品材料事業では、健康に優しく特長ある天然の食品素材を主要な取扱商品としており、的を絞った施策を推進し、食品業界などへの拡販に鋭意注力してまいりました。これに加えて、これまでの営業活動で蓄積した食品に係る様々な情報や技術を活用して、新規商材の発掘や市場の開拓、更には、独自性の発揮できる新規複合食品素材の開発といった新たなテーマにも積極的に取り組んでおります。このような状況下で増粘安定剤はアラビアガムの安定供給を継続して確保できたことで順調にシェアを拡大したものの、ローカストビーンガムの市場価格が乱高下したことにより使用量の削減や代替品への切り替え等、需要が急減し市場が大幅に縮小する環境下、販売先からの受注が減少したことで販売数量・価格は前年同四半期を大きく下回りました。乾燥野菜は、安定した需要に下支えられたことや新規商材の販売も順調に推移しました。またコスト上昇等による輸入原材料価格の高騰に伴う販売価格の値上げ効果もあり前年同四半期を上回りました。その結果、当事業全体の売上高は18億8千3百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は9千6百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。

（主な製商品群の概況）

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
食品素材等	乾燥野菜は安定した需要や輸入原材料価格の高騰による販売価格の値上げにより売上が堅調に推移したものの、増粘安定剤はローカストビーンガムが市場価格の乱高下により需要が減少したことから、販売が低調に推移し4.6%の減収となりました。

〔その他の事業〕

当社グループの成長を支える新たな事業領域を開発・育成すべく取り組んでいる「その他の事業」では、アフリカから輸入した切り花の国内販売や、新市場開発用途の商材を発掘しつつ、新規ビジネスの可能性を追求する活動に積極的に取り組んでおり、試販等による事業化への検討を進めております。輸入生花の販売は、E C市場等のインターネット販売向けの需要は堅調だったものの、店頭販売向けの需要が低迷した影響を受け、前年同四半期を下回りました。その結果、「その他の事業」の売上高は5千9百万円（前年同四半期比19.1%減）、営業損失は1千6百万円（前年同四半期は営業損失1千万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、305億3千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して36億7千6百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が4億9千2百万円減少したものの、現金及び預金が10億5千8百万円、受取手形及び売掛金が7億1千万円、電子記録債権が10億6百万円、棚卸資産が4億8千3百万円、建設仮勘定が3億8千7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債については、113億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億9千8百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が35億円減少したものの、支払手形及び買掛金が2億6千9百万円、短期借入金が5億円、1年内返済予定の長期借入金が40億円、その他固定負債が4億8千5百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産については、192億3千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億7千8百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億6千3百万円減少したものの、利益剰余金が19億6千6百万円(21億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、1億3千5百万円の剰余金の配当による減少)、為替換算調整勘定が2億7千1百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月11日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年2月14日)公表いたしました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,343,663	7,402,449
受取手形及び売掛金	6,257,934	6,968,592
電子記録債権	2,059,068	3,065,839
棚卸資産	4,486,047	4,969,746
その他	320,709	341,607
貸倒引当金	△11,820	—
流動資産合計	19,455,604	22,748,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,697,926	1,678,842
機械装置及び運搬具(純額)	855,977	844,094
土地	422,634	439,103
建設仮勘定	98,495	485,900
その他(純額)	167,639	646,348
有形固定資産合計	3,242,672	4,094,290
無形固定資産	115,922	111,284
投資その他の資産		
投資有価証券	2,982,816	2,489,817
その他	1,577,024	1,606,491
貸倒引当金	△514,169	△514,074
投資その他の資産合計	4,045,671	3,582,234
固定資産合計	7,404,267	7,787,808
資産合計	26,859,871	30,536,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,863,665	4,133,216
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	—	4,000,000
未払法人税等	263,273	277,406
賞与引当金	173,000	123,511
役員賞与引当金	80,000	—
その他	803,175	856,482
流動負債合計	5,183,113	9,890,617
固定負債		
長期借入金	4,000,000	500,000
資産除去債務	64,461	69,248
退職給付に係る負債	5,688	6,073
その他	352,391	837,782
固定負債合計	4,422,541	1,413,104
負債合計	9,605,655	11,303,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	4,406,235	6,372,416
自己株式	△59,602	△62,295
株主資本合計	13,935,796	15,899,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,226,687	962,901
繰延ヘッジ損益	6,255	12,823
為替換算調整勘定	2,085,476	2,357,312
その他の包括利益累計額合計	3,318,419	3,333,038
純資産合計	17,254,215	19,232,322
負債純資産合計	26,859,871	30,536,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	20,114,574	22,944,503
売上原価	16,076,937	17,908,574
売上総利益	4,037,636	5,035,928
販売費及び一般管理費	2,755,326	2,971,221
営業利益	1,282,310	2,064,707
営業外収益		
受取利息	21,408	45,321
受取配当金	60,106	73,621
為替差益	32,940	—
その他	37,432	51,507
営業外収益合計	151,887	170,450
営業外費用		
支払利息	16,093	16,022
債権売却損	3,100	3,936
為替差損	—	74,018
その他	5,425	7,733
営業外費用合計	24,619	101,711
経常利益	1,409,578	2,133,446
特別利益		
投資有価証券売却益	※ 2,806	※ 657,937
特別利益合計	2,806	657,937
特別損失		
退職給付制度改定損	320,232	—
減損損失	34,577	26,592
特別損失合計	354,809	26,592
税金等調整前四半期純利益	1,057,575	2,764,792
法人税、住民税及び事業税	235,659	520,112
法人税等調整額	△101,864	142,776
法人税等合計	133,795	662,889
四半期純利益	923,780	2,101,903
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△224	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	924,005	2,101,903

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	923,780	2,101,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364,545	△263,786
繰延ヘッジ損益	410	6,568
為替換算調整勘定	519,331	271,836
退職給付に係る調整額	△10,602	—
その他の包括利益合計	873,685	14,618
四半期包括利益	1,797,465	2,116,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,797,690	2,116,521
非支配株主に係る四半期包括利益	△224	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高機能材 料事業	環境材料 事業	食品材料 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,551,890	3,515,155	1,973,616	20,040,662	73,911	20,114,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,551,890	3,515,155	1,973,616	20,040,662	73,911	20,114,574
セグメント利益又は損失(△)	1,211,301	141,648	123,596	1,476,547	△10,941	1,465,605

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,476,547
「その他」の区分の損失(△)	△10,941
全社費用(注)	△183,295
四半期連結損益計算書の営業利益	1,282,310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高機能材 料事業	環境材料 事業	食品材料 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,862,706	5,138,723	1,883,269	22,884,698	59,804	22,944,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,862,706	5,138,723	1,883,269	22,884,698	59,804	22,944,503
セグメント利益又は損失(△)	2,007,076	160,000	96,776	2,263,853	△16,039	2,247,814

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,263,853
「その他」の区分の損失(△)	△16,039
全社費用(注)	△183,107
四半期連結損益計算書の営業利益	2,064,707

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 投資有価証券売却益

前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

株式会社寺岡製作所の株式を売却したことによるものであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

主に株式会社日立製作所の株式を売却したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	316,221千円	329,885千円